

令和元(2019)年度 基盤研究（S） 審査結果の所見

研究課題名	真菌における一酸化窒素の統合的理解と育種・創薬への応用
研究代表者	高木 博史 (奈良先端科学技術大学院大学・先端科学技術研究科・教授) ※令和元(2019)年7月末現在
研究期間	令和元(2019)年度～令和5(2023)年度
科学研究費委員会審査・評価第二部会における所見	<p>本研究は、酵母における一酸化窒素の合成機構とその制御機構の解明、さらに、酵母及び糸状菌における一酸化窒素の生理機能の解明を目標としている。また、その成果に基づく産業酵母の育種や新しい真菌剤の開発等を目指している。</p> <p>酵母における一酸化窒素の合成機構とその制御機構の詳細を解明するとともに、一酸化窒素の機能二面性、すなわち、細胞保護と細胞死に対する生理機能の解明を目指す研究として学術的意義が高い。また、その研究成果の酵母及び糸状菌の産業的応用への展開についても期待される。</p>